

洗 脂 肉 合 宿 20

卷之三

「…………」地獄だつたがい懸
けあわ」
食事時にかねて韓国料理に
列ができあつた。朝には乾燥
きたパンと牛乳、晩は夜まで
韓国食が出されあつた。

徵風道友

信者2世編III

蒸し卵がフレハブのような
匂。匂内の地位たに子ども

自分の体をたたいています。
疲れてもたたき続けるのは
「燃い錆が体から飛んでい
く」と教えられたから。

の『洪臘白鷗』を強いてられました。

歸らる」と、「役職」と呼びます。顔や髪、脚などをたたきました」。そう語るのは、当時田舎だった福岡の世の女性△さん（30代）です。統一規格では、集団結婚した新郎の竹久も「祝福の舟」と呼び、「舟の子」扱いします。△さんは、祝福を受けたため計一人〇〇回間、数回にわたり清平修鍊院に行かれました。

小中校生400人 全身たたき「除霊

ひたすら音読

したかの午後の壁紙の新しさまで
で、寂しい講義の繰り返し。
20日間、一日も休みがなかつたん極におか。

「おお」

時間行つため体力が奪われました。背中は後ろの人にたまいてもらいます。たたか方が弱いと「悪靈が出ていかない」といふと聞われてしまします。

れ、それに一番悪事がたまつてこねこねじ込まされました。なので、みんな自分でたきました

うたしゅうじと壁の音が起こ
たら、壁を殴る後ひび立つ
いうなりました。

卷之三



清平修鍊院での集合写真。前列右から2人目は、統一協会で当時「大母様」と呼ばれていた金孝南氏（提供写真、一部加工）

朝國會が出来ました。

は「嘘だね」と喜ぶながら扇風機を回みました。布団はなく、男女分かれで、子もいました

「風邪は悪魔が出て行った証拠だ」と説明されました。

この休み時間に氣いでやります。
选瀬物はその辺で止む
いたいですが、當時迷ひました
状況でも親は自分の子にさせ
てほしく無いのです。

したが、丁寧な言葉で説明
れなくよう工夫しました。
「難解な場所」は複数
したがって「丁寧な説明」
を修練に通じてしめたので
す】